

●地域防災力の強化に取り組む団体コーナー●

郡上市女性防火クラブ

郡上市女性防火クラブは、昭和58年4月に郡上郡婦人防火クラブとして結成し、町村合併によって、平成16年3月に郡上市女性防火クラブとなり、市内全域を対象に活動しています。

私たちは、近年増加している災害に対応するため、防火防災に関する知識を多くの人々に広める活動を行っています。全市民が参加できる防火防災市民講座を年2回実施し、防災の専門家や地元の消防士など、様々な講師をお招きしています。

また、普通救命講習会を年3回開催しており、約100名の市民が参加しています。

さらに、防火防災に関する出前講座を年間十数回行っています。アルミ缶コンロの講習が始まりましたが、今では家庭内DIG、段ボールベッドの組立て、防災食の献立など多岐にわたります。小中学校や自治会等から依頼を受けています。

郡上市の防災に関する会議にも参加し、女性防火クラブとしての意見を出しています。

岐阜県郡上市女性防火クラブ
会長 中山 紀子



また、支部活動として、赤色灯搭載車を使用しての巡回や防災体験施設での研修、炊き出し等を行い地域に貢献しています。炊き出し訓練を兼ねたふるさと祭りの出店では、収益を被災地に送っています。消防団とも合同会議を年3回行い、協力体制を作ります。

今後も地域のニーズに応じた活動を、女性ならではの視点で進めていきたいと考えています。



鳥羽市桃取町自主防災会

鳥羽市桃取町は伊勢湾口に位置する答志島にあり、人口約500人、高齢化率50%の小さな集落です。離島という地理的条件から生活する上での基盤が充分でなく災害時の支援も届きにくいことが想定されることから、全町民を会員として2003年に結成された自主防災会の活動が続けられています。結成当時は例にもれず「名ばかりの組織」でしたが、幾度も襲った大災害などを契機に事業や組織運営を見直し次第により現実的な取り組みが行われるようになってきました。

例年実施する高台への津波避難訓練では担架での要配慮者の搬送や夜間の避難を体験するなど内容を工夫し、近年では避難所運営訓練や災害用資機材の操作訓練など発災時の具体的な行動を想定した訓練を実施しています。また、平時における事前の備えとして災害時に必要な生活物資の高台への備蓄促進活動や、町内の世帯の状況を記載した世帯台帳のほか災害用資機材台帳、非常用食料

三重県鳥羽市桃取町自主防災会
会長 斎藤 直樹



台帳などを整備しその更新作業を行っています。

これら日々の取り組みは、隔月に発行する機関紙「ももぼータイムス」に掲載し全戸配布することで防災意識の啓発に努めています。引き続き、これまで培われてきた共助の心を大切に守りながら災害への備えを充実させていきたいと考えています。

